

はむらZOOとぴっくす

やわらかな日差し第9号 2007年2月号(No, 9)



100年前のお宝・大発見！「幻の川獺」



明治40年3月18日に31円で購入された「ニホンカワウソの剥製」が羽村市動物公園で発見されました。一昨年、都立立川高校(旧制・東京府立第二中学校)から剥製300余点を無償で御寄贈いただきました。剥製標本台の裏に製作日や購入年月日が明記され、ルーツを探ったところ、明治時代の剥製師・坂本三六氏の作であることが判明しました。その中から、絶滅危惧種である哺乳類二点を、八王子の大熊剥製所の手で丹精込めてリニューアルして頂

き、国立科学博物館の川田伸一郎博士に鑑定を依頼したところ、「ニホンカワウソ」と「ツシマヤマネコ」にほぼ間違いなしの結果を得ました。日本の動物園に於いては、愛媛県立とベ動物園に三体保存されているだけで、関東地方では羽村市動物公園でしか見ることのできない大変貴重な剥製です。今後の予定は、二月初旬に当動物公園で開催される日本動物園水族館関東東北ブロック園館長会議で発表して、三月には一般公開の予定です。乞うご期待！！

写真は高知県須崎市で撮影されたニホンカワウソの生体写真です。2005年にボルネオのキナバタンガン河岸で出会った五頭のコツメカワウソの可愛い仕草を思い出します。

是非「幻の川獺」貴女に会いたい！

羽村市動物公園 園長 赤尾壽允



Happy Valentine!!

2月10・12日、バレンタインイベントを行います。

園内にはとってもラフリーな動物達がたくさん！！お気に入りのイベントに参加してね。



発見!!



ブッポウソウの巣箱



1月22日、園内にブッポウソウ用の巣箱を4箇所設置しました。これは、「東京にブッポウソウを呼び戻す会」代表川名国男さんのご協力により実現いたしました。感謝いたします。

あえてブッポウソウ用といいましたが、普通の巣箱と何が違うのでしょうか…。ブッポウソウ用の巣箱は、一回り大きいです。さらに、タマゴが転がらないよう巣箱の中には丸をくりぬいた板を敷きます。そして底の四隅には排水の穴が開いています。設置場所は、開けた空間でつるつるとしたポールや横枝の少ない高い木が良好な条件です。カラスやネズミから襲われる確立が低いからです。そういう場所でないと、ブッポウソウは巣を作りません。本能で危険を知るので、こういった条件の中で選ばれた4箇所を探してみてください。見上げること6mです。

ところで、ブッポウソウは皆様にとってなじみのあるトリでしょうか？赤い嘴と青緑色の羽根をもち、翼には白い模様のあるとても美しい夏鳥です。しかし、残念ながら東京で目にする機会がほとんどなくなりました。いつの日か東京にブッポウソウが戻ってくる日を待ち望んで、温かい目で見守ってください。



川名先生



第4号設置

イベント案内

土日祝日のイベント時間が変わったブ～。



2月のイベント

・ポニーライド

開催日: 2月4日(日) 10:00～15:00

・かわいい動物レース

開催日: 2月11日(日) 11:00～13:00～

・チョコレートバレンタイン

開催日: 2月12日(日) *各イベント時に動物達にプレゼントします。

・水鳥野鳥観察会

開催日: 2月18日(月) 13:30～



3月の予定

・ポニーライド

開催日: 3月4日(日) 10:00～15:00

・ホワイトデー

開催日: 3月11日(日) *各イベント時に動物達にプレゼントします。

・ネイチャーゲーム

開催日: 3月18日(日) 13:00～

・落ち葉プール・いろりを囲んで動物Q&A (3月18日まで実施)



毎週土日祝日のイベント

・わくわく探検隊「動物教室」

11:30～ わくわくスタディールーム

へび、カメ、タマゴ、ホネ
などなど素敵なお話が。

・サル山温泉牛乳風呂

13:15～ サル山

美容と健康をかねて牛乳
風呂にしてみました。

・オオカミ・ハイエナガイド

13:45～ オオカミ・ハイエナ舎

オオカミとハイエナの比較を
行う新ガイドスタート！！

・サバンナスポットガイド

14:00～ サバンナ園

キリン、ダチョウ、シマウマな
どの混合飼育の楽しいガイド。

・レッサーパンダスポットガイド

14:30～ ウェルカムレッサーパンダ

かわいいのんちゃんがお姉
さんにおやつをおねだりす
る姿がなんと。

・ペンギンランチ

15:00～ ペンギンプール

良い子のみんなでペンギン
の大好物アジをあげてね。



フotロケーション登場!!



干支看板にベストポジションを設置。思い出を撮りませんか？

タオル・石鹸ありがとうございました。

今月の動物園人 ^{どうぶつえんびと} 北村さん

北村さんが一番思い入れのある動物は、担当動物で初めて誕生したエミューのミューちゃんだそうです。2ヶ月間飲まず食わずで抱卵したミューちゃんのお父さんは、ミューちゃん誕生翌日、北村さんの看病の甲斐なく死亡。そして最後までお父さんに寄り添っていた北村さんを仇と勘違いしたミューちゃんのお母さんには、一年間攻撃され続けたそうです…(涙)

そんな北村さん、趣味は写真というだけあって、動物たちのい～い表情を撮るんです。そんなベストショットの中から、記者お気に入りの2枚を。

「シマハイエナのシマ子、日向ぼっこ

～意識飛ぶ寸前…」

「カラカルのカラ、気合入れて爪とぎ!

～今日のゴハンはニヤんだ?」



編集後記

2007年もあつという間に2月に入りましたね。今年は雪が降るのでしょうか…。

さて、2月といえば節分。最近は「鬼は外～福は内～」と聞こえなくなりました。残念です。日本にも素晴らしい伝統行事があります。大切に伝えて生きたいものです。

西川・松嶋

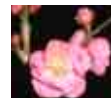


羽村市動物公園

〒205-0012 東京都羽村市羽 4122 番地

TEL 042-579-4041

FAX 042-579-1619



St. Valentin!!

子育て奮闘記



左の写真をご覧ください。ハワイガンの 2羽が羽根と落ち葉でできた巣にうずくまってしっかりと卵を抱いています。は人がよつくとすぐにとんできて、首を伸ばして威嚇します。しっかりと守っているのですね。感心です。右の写真は、1月20日孵化したひなです。一足先に長男?長女?になりました。次に生まれてくるヒナと共に成長を見守って下さい。



生1週間のヒナ

2班ガイドpart6

2班の動物の代表といえばこの動物!!「オオカミ」についてお話しします。

羽村市動物公園のシンリンオオカミは2頭いて、灰色の **オーク**、白色の **ブランカ** です。**オーク**、**ブランカ**はとても仲がよくいつもお互いに体をなめたりじゃれあったりしています。とても人懐っこいので、人が来ると近くによって来てくれます。前を通りかかる時名前を呼んでみてください。うまくいけば近くに来てくれますよ。

さて、オオカミの特徴の一つに遠吠えがあります。「ウォー」という声でとてもよく響き、野生では仲間達に自分の居場所を知らせたり、狩りをする時の合図、自分の縄張りを主張する時などに使われます。当園でも、よく園内アナウンスの時に2頭一緒に遠吠えをする姿を見たことがあると思います。しかし、なぜアナウンスに対して遠吠えをするのか詳しいことは分かっていません。もしかすると、園内アナウンスを他のオオカミの遠吠えと勘違いしていて鳴き返しているのかもしれませんが。皆様も当園に来た時はぜひオオカミの遠吠えを聴いていって下さい。(担当 大野)



サバンナガイドpart9



ホオカザリヅル (英名)Wattled crane (学名) Grus carunculatus

全長:1.5~1.7m 体重:88.3~8.5kg

サバンナガイドのトリを飾るのは、ホオカザリヅルの『キュル』ちゃんです。みなさんは、サバンナ園の建物の一番奥に居ることをご存知でしたか?ある意味隠しキャラクター的な存在です。(笑)

『キュル』ちゃんは、小さい時から飼育しているので、とても人懐っこいです。日々の日課は、長い嘴で穴を掘ること。汚れた嘴はちゃんと水で洗います。きれい好きな『キュル』ちゃんに会いに来てください。

ちなみに、名前の由来はキュルキュルと鳴くのでつけました。(笑) (担当 磯部)



サービスセンターより

園内放送を聞いたことはありますか?

実は、サービスセンターのスタッフが実際にしゃべっているのです。イベントの案内を中心にアナウンスをしていますが、6人それぞれの個性があるので面白いですよ。

ピンポンパンポン~の音が聞こえたら注目!!



管理担当より

夕方4時頃、左手にビニール袋・右手にちゃかちゃばさみを持っている人を見かけたことがありますか?園の下の力持ち、管理の方々がゴミを拾ってくれているのです。

ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。



動物園の草木たち

コブシ (辛夷) モクレン科

昨年は、残念ながら花を咲かせてくれませんでした。今年はたくさんのつぼみをつけています。白い花が満開に咲く様子は見ものです。



どこみてるの?カラフトフクロウ



カラフトフクロウの **フクノスケ**・**フクちゃん**は、外を見るのが大好きです。いつも左手前に入る**フクノスケ**は、飛行機が飛んでいると目で追っかけます。右奥にいる**フクちゃん**は、管理通路を見ます。その後姿はとても哀愁が漂っていて可愛らしいです。3月の繁殖期になるといつも離れている**フクノスケ**が**フクちゃん**にプレゼントを渡すそうです。

ブーボ ブーボ Bubo bubo日記 ~その6~

ホルスのエサ事情2

賢いホルスは、グローブをはめた手からエサが貰えることを覚えました。台の上に置くと少し様子を見た後、取りにきます。いつも通り大好きな木のそばにもっていき、足元をちらちら見ます。それがエサを食べる合図!!ふくらんでいる姿はとても可愛らしいですよ。次回はどんなホルスが見られるか楽しみですね。



どきどきハンスオン便り

10月号で紹介したフクロモモンガのガー()とリー()に待望の第一子が誕生しました。赤ちゃん誕生を知らずに爪切りをしていた飼育係...「袋から足が~!!」というハプニングから赤ちゃん誕生がわかりました。フクロモモンガの赤ちゃんは、楊枝の頭と同じサイズで生まれてくるんですから、出産に気付かないのもうなずけます。ところで、有袋類は出袋した日が誕生日です。ということは、この名無しのモモちゃんが生まれたのは、おそらく11月終わりですが、誕生日は1月31日ということですね。



「袋から足が~!?」



一生懸命おっぱい飲んでます!

動物園のお仕事 ~夜警さん vs ドラ猫の巻き~

夜の動物園を守るガードマン三人衆、左から高山さん、藤原さん、渡辺さんです。

朝5時頃のホロホロ鳥の大合唱にセンサーが反応!も困りものですが、最近一番この三人を悩ませているのが、



作: ちゃびん.T

夜の動物園デートを楽しむ黒猫と白猫のカップルです。園内各所にはセンサーが設置してあり、動く物が横切れればブザーが鳴り、カメラが作動します。これで辿ると、二匹のお気に入りコースは、モルモット部屋と日本鶏舎付近のようです。

「あの茶色のモルモットがいいわ」「いや、向こうにもっと肉付きのいい小軍鶏がいるぜ!」なんて会話をしているのでしょうか...。ムムッ、不敵な!

明らかに猫だとわかって、必ず安全確認に行かなくてはいけないのが夜警さんの役目。毎晩ごろうさまです。

天国へ旅立ちました。

ありがとうございました。わすれないでね。

カイロトゲネズミ♂

モルモット♀

フサオマキサル

クジャク♀



えつこ♀

ルゴール♀

キキ